

「ラグビーワールドカップ日本 2019」 「レジャー & サービス産業展 2019」 「東京オリンピック・パラリンピック 競技大会組織委員会警備局企画展示」 「IBC2019」

神谷 直亮

ラグビーワールドカップ日本 2019

待ちに待った「ラグビーワールドカップ」が、9月20日に東京スタジアム（東京・調布市）で開幕し、初戦で日本がロシアに30対10で勝ち白星発進した。その後もアイルランド戦で19対12、サモア戦で38対19の勝利を収め10月13日に行われるスコットランド戦に臨もうとしている。

筆者は、スタジアムに行く機会に恵まれなかったため、東京スポーツスクエア（千代田区有楽町）に設営された「FANZONE」で観戦している。会場には、パブリックビューイング（PV）ステージが4カ所（1階に3カ所、2階に1カ所）に設置されており結構楽しめる。試合の映像は、JスポーツがスカパーJSATの衛星プラットフォームで放送したものを、会場に設置されたアンテナで受信し上映している。ちなみに、最大のスクリーンサイズは、幅10メートルで迫力満点だ。

PV以外の「FANZONE」見せ場としては、「ラグビーミュージアム（日本ラグビー特別展）」が挙げられる。ここでは、ポスターで1987年から2015年までの日本のラグビーの歴史を知ることができ、歴代の代表選手が使用したユニフォームなどを見ることができる。

さらに、文化交流エリア、アクティビティエリア、グッズ販売、飲食エリアなど、食べ

たり、飲んだり、ファン同士で交流を図ったりできる場が設けられており飽きさせない。文化交流エリアには、スポンサー企業のNTTドコモ、NEC、キヤノンなどがブースを構えている。

覗いて見たらNTTドコモは、ラグビーの試合をコンテンツにして、5G VRと5Gマルチアングル視聴の体験を促していた。5G VRではOculus Questヘッドセットを使用して、ラグビーの試合会場を360度好きなアングルで楽しむことができた。一方、5Gマルチアングルのデモでは、LGエレクトロニクス製折りたたみ式スマートフォンを使用してスタジアムカメラとピッチカメラの映像を大小4画面で見せていた。来春の商用サービスに向けてNTTドコモが開発したdOpen Innovation Cloud（dOIC）上に配信サーバーを置いて伝送しているのかと確かめたら回答は否であった。ブースの担当者によれば、本格的な5GコアネットワークとdOICを活用したライブビューイングは、別途、ベルサール汐留会場で行われたようであるが、残念ながら筆者は参加できなかった。NECは、顔認証技術のPRに余念がなかった。今回は、技術のPR以外に、ブースで認証した顔写真を実際にプリントして提供するサービスも行って来場者を喜ばせていた。

さらに、NECのラグビーチームの選手との記念写真撮影の場まで設けるというサービスぶりであった。

キヤノンもスマホで撮った写真を同社のプリンター「Pixuo XK60」で即プリントして提供するサービスを行っていた。

レジャー & サービス産業展 2019

総合ユニコム社が主催した「レジャー & サービス産業展」は、10月1日、2日に東京ビッグサイトで開催された。展示会場の他に、会議棟で「事業創造・エリア活性化」「事業価値向上 & バリューアップ」「イノベーション & バリューアップ」「NEWエンターテインメント & 統合型リゾート開発」の4つのセミナーも行われ結構賑わっていた。

142社・団体が出展した展示会場で最も注目を集めたのは、タケナカ、第一興商、三菱電機、TWINBIRDだ。

タケナカは、「感創力」をキーワードに掲げて、壁の映像にタッチすることで音楽を再生できる「タッチミュージックシステム」を目玉にして出展した。壁の映像は、ピアノ、バイオリン、ドラムなど楽器演奏者8人で構成されており、好きなコンビネーションをタッチ方式で選択して演奏が聴ける仕組みになっていた。

第一興商は、10月1日に発売した「LIVEDAM AI」を大々的に紹介した。名称の通りAIを駆使するカラオケシステムである。しゃべってリモコンで操作が可能な内容は、予約、スタート・やり直し、音量の上下、



写真1 「FANZONE」では、大画面によるパブリックビューイングが行われ大勢の来場者で賑わった。



写真2 「FANZONE」には、「ラグビーミュージアム」が設営され、日本のラグビーの歴史を知ることができた。

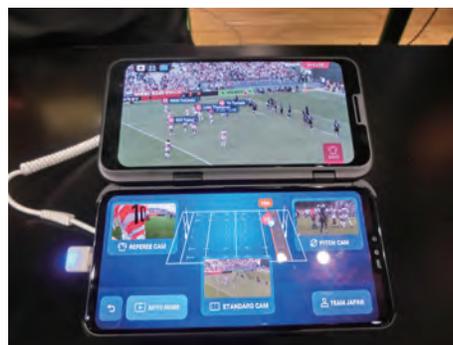


写真3 NTTドコモは、LG製折りたたみ式スマートフォンで5Gマルチアングルのデモを実施して注目を集めた。



写真4 タケナカは、壁の映像にタッチすることで音楽を再生できる「タッチミュージックシステム」を展示した。

キーの上下など多様な範囲に及ぶ。同社のブースでは、どこでも手軽に楽しむことができるカラオケ空間「COCOKARA」の売り込みも行われていた。

三菱電機は、新4K衛星放送チューナー内蔵58インチ、50インチ4Kテレビをレジャーホテルやレジャー施設向けに売り込んでいた。高音質サウンドシステム「DIATONE」とリモコンで見やすい角度にテレビの向きを調整できる「オートターン」がウリである。この他、新製品として「壁掛け専用スタンドレス4Kモデル」「カンタンサイネージ（お手軽電子看板）」「青空照明」も紹介された。「青空照明」は、窓のない室内空間に、快適な奥行きのある青空と時の移ろいを再現するという優れたものである。

燕三条に本社を構えるTWINBIRDは、ホテルモードの浴室テレビを出展した。サイズは22インチと32インチの2機種で、もちろん防水構造になっている。ホテルモードの意味を聞いて見たら「音量、チャンネル、入力信号を好み通り設定できる機能」とのことであった。

既述の4社以外では、GOLFZON Japan、Japan Wellness Innovation (JWI)、大器などアクション系の展示とデモが人気を呼んでいた。

GOLFZON Japanは、ブースにインドア練習・レッスンに特化した次世代ゴルフシュミレーターを設置して来場者に実体験を促していた。ハイスピードカメラを使って細かいデータを拾い、ち密なショットを分析して見せるのが肝である。スイング動画やショットデータをスマホで確認できるのもメリットとして挙げられる。

JWIは、サーキット型キックボクササイズ「9ROUND」のPRに余念がなかった。「9ROUND」のコンセプトは、異なる9つのラウンドで各3分、合計30分という時間で効率的な全身運動を可能にする。かつメ



写真5 第一興商は、10月1日に発売したAIを搭載した「LIVEDAM AI」を大々的にPRした。

ニューが毎日変わるので飽きることがないという。

ボルダリングジムの経営で知られる大器は、ブースに初心者用のボルダリングウォールを設置して、来場者にチャレンジを促していた。出展の目的は、子供からシニアまで運動未経験でも楽しめることを知ってもらいアーバンスポーツとして事業化を検討してもらいたいという。

以外だったのは、ゲストルームへの最高のサービスを提供するトータルサポートが、「APPLE TV」の導入を促していた。「インターネットで、見たい映画やビデオが見られる。聴きたい音楽が流せる。ゲームができる。ミラーリングができる」というのが売込みのポイントである。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会警備局企画展示

別稿「RISCON2019」「SEECAT2019」でレポートできなかったが、同展示会場の一角に特別企画展示エリアが設けられており、来年に迫った東京オリンピック・パラリンピック競技大会に備えて検討されているセキュリティ関連の最新の製品や技術が紹介されていた。主なものを挙げると、翻訳機能付きメガホン、X線荷物検査装置、液体検査装置、顔認証システム、監視カメラ、金属探知機、警備用自転車、車両下部検査装置ということになる。トヨタが開発したという「立ち乗りタイプ、歩行領域EV」も置かれており、実際に試乗体



写真6 「IBC2019」では、ユーテルサットが8Kのライブデモを実施して来場者を魅了した。

験ができた。さらに、パラリンピック用のトーチを手にして記念撮影ができるコーナーも用意されており、結構人気を得ていた。

IBC2019

最後に欧州最大の放送機器展「IBC2019」（9月13日～17日、オランダのムステルダムで開催）に触れたいと思う。今年の注目は、8K、新符号化方式、IP制作の3点と言って良い。8Kについては、常連のNHKに加えて、フランスのユーテルサットがライブデモを実施して来場者を魅了した。このユーテルサットのデモには、フランスTV、パラマックス、ハーモニック、サムスンが協力している。

新符号化については、HEVC (H.264) に次ぐVVC (H.265) が注視的である。しかし、特許暗黒時代に突入しており、AV1、EVCなどの追い上げを食らっている。

IP化の課題は、リモートプロダクションの早期の実現だ。中継車を出さずにカメラ映像を非圧縮で局までIP伝送する際の信頼度と、どこまでコストを削減できるかに関する評価が決め手と言える。

Naoakira Kamiya
衛星システム総研 代表
メディア・ジャーナリスト

SWE DISH

ニッサン新エルグランド4WD
5名定員

1.2m径・自動捕捉アンテナ搭載
車高2.2m以下（地下駐車場可）

3.6 KVA NMG アイドリング運用
水圧エコ・ポール4m 搭載
強化サスペンション
国内（100V）海外（240V）対応
IPコントロール
ハイビジョン映像伝送
運転席からワンマンオペレーション

SMART SNG
HD TV, 3D TV and IP OVER SATELLITE, ECO OPERATION

スマート・サテライト・ニュース・ギャザリング

<http://www.bizsat.jp>



設計・製造・衛星通信のことなら
エーティコミュニケーションズ株式会社
TEL: 03-5772-9125

AI Communications k.k.